



六華の心

酒田市立第六中学校
学校だより 第14号
校長 加藤 浩昭
令和4年9月5日

まさしく「競和皆笑」大運動会 大成功!!



9月2日（金）に開催された大運動会。前日の大雨で予定通りに開催できるか心配しましたが、みんなの思いが通じたのか、前日の夕方には水浸しだったグラウンドも本番当日の朝には乾き、開会式を少し遅らせたものの予定通り実施することができました。

コロナ禍で3度目の運動会。過去2年間は感染症の流行に伴う延期が重なったり、応援合戦も3年生だけで実施したと聞きました。つまり、今年は1年生から3年生まで、中学校の運動会での応援合戦は今年が初めてという運動会でした。

感染症の第7波の影響がありました。2学期に入ってから天気は安定せず、特に本番直前は雨が多く、準備・練習段階では様々な制約がありました。それでも3年生を中心に4つの組、そして全校が心を合わせて素晴らしい運動会を創り上げてくれました。

声を掛け合い、励まし合いながら競技に精一杯取り組みました。競技後には手を取り合って健闘を讃え合ったり、失敗して落ち込む仲間を励ましたりする心温まる姿がありました。応援合戦の時だけでなく、競技中の応援も途切れることなく、最初は遠慮がちだった1・2年生も3年生の競技の時にはリーダーを中心に盛り上げてくれました。その姿に来年以降も期待できるという思いを強くしました。

4つの賞を4つの組が分け合うという結果になりました。どの組もそれぞれの持ち味、そして力を出し切り、切磋琢磨し合った証だと思います。「競和皆笑～我らの心はいつもひとつ～」。スローガンをしっかり達成できた素晴らしい運動会でした。



オレンジ組
準応援賞

皆笑



赤組
競技準優勝

黄組
応援賞

青組
競技優勝



(裏へ)



競和



平日開催にもかかわらず、多くの保護者の皆様から足をお運びいただきました。ありがとうございました。

《運動会 校長が「いいな」と思った六中生の姿》

- 雨で事前練習が十分でない中でも、整然と取り組める。(開閉会式立派でした)
- 本気になった時のエネルギーとパワー(練習の時は大丈夫かな?と思うこともありました。杞憂でした)。
- 運動が苦手、声を出したり、踊ったりするのはどうも…という感じの人も精一杯頑張る。そして、そういう頑張りを認め合い、温かく包み込むような雰囲気。
- 勝負事なので「勝ちたい!」という気持ちは当然です。でも、勝ちに走りすぎない。競技であれば一生懸命に取り組みながらも、勝つこと以上にみんなで楽しもうとする様子。ある種の心の余裕・ゆとりを感じました。
- 相手の頑張りを讃えることができるリスペクト精神。
- 責任を果たす姿。後片付けまでしっかりと取り組んでいました。最後の最後、グラウンドに落ちていた応援用のフサのごみを、腰をかがめて丁寧に拾い集める幹部の姿がありました。

思いを言葉に乗せて! (少年の主張&英語弁論大会)

下記の皆さんが、学校を代表して出場します。

《少年の主張飽海ブロック大会》 ※昨年に引き続き、ビデオによる審査
齋藤叶瑚さん(3-2) 演題:「あと3年」

《英語弁論大会飽海地区地区予選》 ※9月8日(水) 東北公益文化大学公益ホール

○暗唱の部 齋藤莉緒さん(3-1) 渋谷孝太さん(3-1) 柿崎果歩さん(3-3)

○スピーチの部 後藤心さん(3-3) 演題:「Relating to Each Other」